

第五期長期計画・調整計画策定委員会 傍聴者アンケート
第 10 回実施分（平成 27 年 4 月 10 日開催） 自由記載欄

○ 今回の策定委員会で印象に残った、または興味のある議論や課題がありましたら記入してください。

- ・平和施策と地域リハの理念をリンクして記載してほしい。「公」の原点・基本として、「すべての社会の構成員が（誰もが）排除されないで、社会参加が当たり前ができる」ことが平和の土台となることを明確にしていかなければ、生活や人権と平和が繋がらないと痛感している。地域リハの活かし方が弱い。地域リハの理念を文化・市民生活にも加えて欲しい。
- ・委員の意見「市民参加」について、私も同じ意見です。ボランティアや共助をたよっていても、その人達がつぶれてしまった時はたしてどうするのか。子育てに関して、ベースはやはり行政がしっかりみていかないといけないと思います。子育てしながらの支援はむずかしいですし、子どもが成長し手がはなれば、地価の高い武蔵野ですからローンを返す為働かなくてはなりません。子育て支援はやはり共助は厳しいです。
- ・公共サービスと行政サービスについて。企業や NPO 参入の良し悪しは動きだしてみないとわからない。だからこそ参入で目指す事柄だけでなく、課題や不都合が発生した際に市はどこまで問題解決するのか。その責任についても書き込むべきと感じた。
- ・保育人材の育成の話がでた
- ・児童館の話が出て少し安心した。
- ・第一議題は 50 分かけて何を話し合ったんだろう？議題が変わる前に一まとめ（何を話して、結論はどうなった）するのはいかがでしょう。
- ・委員の差分案は、変更のあった項目だけならできるのでは？それともほとんど変更が入るから多すぎる？

○ その他、ご意見・ご感想などありましたら記入してください。

- ・長計の柱「地域リハ」の発展形として、地域生活（文化・市民生活）・地域福祉の視点から子ども・子育て・教育分野への展開を強化していく理念・課題出しが重要。子ども・子育て・教育は最低限公共で責任を持つという視点が不足している。子ども・子育て・教育への予算拡充や公共での人材育成の議論をもっとできる。まだまだ行政としての可能性があるのではないかと期待します。
- ・インクルーシブ教育の議論が始まったことは評価できます。インクルーシブ教育とは？「さまざまな立場の子どもたちが共に学び遊ぶ仕組みづくりや理念」を言います。そして地域リハの考え方の「誰もが相互に人格や個性を尊重し支え合い、人々の多様なあり方を相互に認め合える全員参加型の社会＝共生社会」へとつながります。継続して議論を重ねてほしいです。期待してます!!
- ・児童館について、市民と策定委員の方の話し合いができると大変ありがたく思っていたのですが、「個別で話し合うことはできない」と行政の方から話があり残念です。市民ニーズとは何なのでしょう。行政の言う市民の意見とはどのような意見なのでしょう。 (何人い

れば？どこの団体なのか？）どうしても都合の良い意見だけを「ニーズ」と言っているようでとても残念です。

- ・子どもの体力が落ちているのはとても怖いことだと思います。子どものことは行政がしっかりみて思いきり遊べるしくみ、場所人を確保しなくてはいけないと思います。利益を求める企業にまかせてはいけないと本当に思います。
 - ・パブコメについて。策定委員の方は送られてきたパブコメを全文読まれたのでしょうか？個人・団体あわせて 65 本程度ならば、目を通して欲しいです。端折られた意見（意見集約表に載らなかった意見）の中にも、伝えたい意見や、知らせたい事柄はあります。
 - ・子供の見守り保育があるとうれしいです。
 - ・この会議でカキカタ国語の話しをするのはもうやめよう。中身の話しをしよう。
 - ・「㊦と㊧と㊨は取りあげるが、話しに上ってこなかったひきこもり、…」とあったが、話しが市民から出てこなかったことに問題を感じないのか？①市民に長計が知られていない②討議要綱が読まれていない③読んだけど意味が分からない④意味は分かるけど関心がない。いろいろ考えられるけど、討議要綱が役に立たなかったのは事実。
 - ・パブコメ個人 36 名は少なすぎる。これは市民参加、市民が作る計画ではない。行政もっと意見を集める努力をするべき。パブコメは意見の集約表じゃみんなの意見が行政フィルターにかけられて、これはもう市民意見はない。屑意見でも策定委員が直接読んで屑か判断すればよだけ。さらに、集約後にも、「すべて議論するのは時間的にきびしい」といのは、議論しないで計画を作っているということ。14 万人の 5 年間の計画を背負うのだから命がけで取りくんでほしい。
 - ・これから桜堤児童館について話し合っただけということで質問があります。
 - ①児童館が子供の居場所だと認識している委員はいますか？
 - ②児童館ガイドラインを読んだことがない委員はいますか？
 - ③児童館へのニーズは把握していますか？
- インターネット上に「『これからの児童館のあり方についての提言』の発表にあたって」、「児童館ガイドライン」というドキュメントがあります。これらを読めば、子供の居場所だという行政の認識が間違っていることが分かります。また児童館の機能についても認識を一つにさせていただけたらと思います。あそべえが児童館ガイドラインに沿うのは、かなりハードルが高いと思います。

(※文字及び文章はアンケートに記入されていた原文のまま記載しています。)